

選挙ってなに？



今日のデザートはいちごが食べたいな！



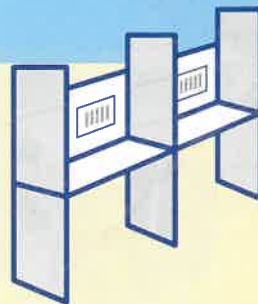
ぼく、ぜったいバナナ！



うーん…どうしようかな？



そうしよう！！



決まらないなら、多数決にしましょうか？



みんなの意見を聞いて何かを決めることって学校や家庭ではよくあるよね、みんなが大人になって参加する「選挙」も同じこと。

「選挙」は、いま住んでいるまちをよりよくしてくれる人＝みんなの代表者を選ぶんだ。



明るい選挙ってなに？



- 「選挙」では、本当にみんなの代表にふさわしいか、よく見て自分で判断し、すすんで投票することがとても大切なことです。
- お金やプレゼントをもらったから、その人に投票したとしても、「自分」の意思を伝えたことにはなりません。
- みんなが政治に関心を持って、すすんで投票に参加し、ルールに違反することなく選挙が行われることを「明るい選挙」といいます。

明るい選挙は、明るい未来をつくる基本となるものです。

ポスター作成のポイント

ポスターは、自分の考えたことや情報を伝えるための表現です。伝えたいことを明確にし、ポスターを見る人の気持ちになって、絵や文字の工夫をすることが大切です。

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 小林 恭代

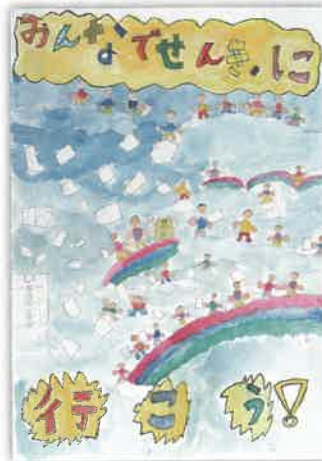
小学校 (低学年～ 中学年)

伝えること、自分の気持ちを表現することをはっきりと分けるのではなく、選挙に対する思いや願いのイメージを身近なことや日常の経験などから素直に表現することが大切です。



小学2年生 山梨県 渡邊 悠真さん

投票する手が箱に向かってぐんと伸びています。投票箱に描かれている風景にも、普段の暮らしが明るく、安心なものであってほしいという思いが表れています。このように、投票する人々を考えて描くことで、投票することで明るい未来につながってほしいという気持ちが伝わってきます。



小学3年生 島根県 森山 忠信さん

たくさんの人々が空の上の虹や雲の上を並んで歩いていて、中には雲にぶら下がった人もいます。手に持った投票用紙は、投票箱に吸い込まれていきます。このように、夢や希望などを描くことで、みんなが楽しい気持ちで、願いをもつて選挙に向かってほしいという作者の気持ちが伝わってきます。

ヒント 1

投票する人々を考えて描く

ヒント 2

夢や希望などを描く

小学校 (高学年)

「人に伝える」ということを身近な経験や社会に目を向けて
自分なりに考えたり、想像を広げたりしたことなどから
「明るい選挙」のイメージをふくらませて表現することが大切です。



小学5年生 福島県
滝口 仁さん

投票用紙に描かれた植物が育っていく様子が表現されています。投票箱の上には町が広がり、伝えたいことが一層明確になっています。このように、投票の場面から考えて描くことで、投票することが明るい未来につながっていくということが伝わってきます。



小学6年生 福岡県
作本 絆さん

投票箱には、自然の様子や建物が描かれ、道を人が歩いています。この道はどこにつながっているのでしょうか。投票することで明るい未来につながってほしいと想像したのでしよう。このように自分の見たことや知ったことから想像を広げて描くことで、選挙について考えることの大切さが伝わってきます。

ヒント
3

投票の場面から考えて描く

ヒント
4

身近な経験から想像を広げて描く

中学校 高等学校

自分が伝えたいことを見る人の立場に立って、何をどのように伝えるのかを考えて、絵や文字を工夫して描くことが大切です。



中学3年生 福岡県
笈木 結衣さん

様々な職業の人々の服装やポーズを細やかに観察して描いています。「選挙へ行くのだ」という短いフレーズは、一人一人の意思のある表情と相まって、説得力のある表現となっています。このように、画面の構成や言葉を工夫して描くことで、伝えたいことがより明確になります。



高校3年生 京都府
寄友 大毅さん

歌舞伎風の表情、ポーズを決めている人物が、学生服を着ているという意外性、そして、18歳ということが絵だけでもわかります。「いざ、選挙へ！」の言葉もシンプルだからこそインパクトがあります。このように、独創的な視点で考えて描くことで、見る人に強い印象を与えることができます。

ヒント
5

画面の構成や言葉を工夫して描く

ヒント
6

独創的な視点で考えて描く